

安全教育便り⑤

SNS のグループ機能

いつも本校児童の安全を地域・ご家庭で見守っていただき、ありがとうございます。



↑ 6年3組 研究授業

5・6年生で「楽しく・かしこい情報機器やSNSの使い方について話し合おう」の授業が行われました。主に「グループLINE」での留意点を考えました。

卒業生の話によると、中学校に進学すると多くのクラスに「クラス LINE」があるそうです。本校でも、学年によっては児童が SNS でグループを作っていることもあります。今は SNS を利用していないお子さんも、数年後にはグループ機能を使うようになるかもしれません。

そこで、5・6年生が学習したことをテレビ放送にて全校児童にも指導しました。どのような内容だったのか、ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

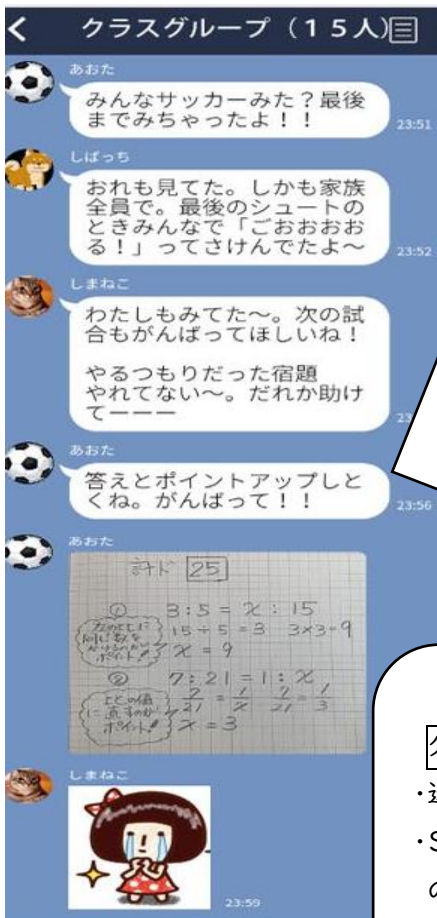
左の例の他には

- 「送信されてきた内容や写真・動画が事実なのか、情報の発信元を確かめる必要がある(拡散の危険性)」
- 「ボタン一つで簡単に送信できるが、著作権や肖像権に配慮しなければならない」

ということにも触れています。

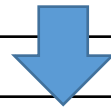
東京都の調査によると、学年が上がると SNS のトラブルを相談しなくなってくる傾向があることが分かりました。

困ったことがあったときに相談しようと思える信頼関係を築いていくことを心掛けるとともに、ご家庭でも学校でも子供たちが変わった様子がないのか、いつも見守っていきましょう。



5・6年生が考えた 問題点

- ・遅い時間に連絡を取り合っている。
- ・宿題の答えを送付し、友達のためにならないやり取りをしている。
- ・メンバー全体に関係のない話題をグループ LINE でしている。 など



5・6年生が考えた グループ機能利用時の留意点

- ・迷惑な時間帯に連絡しない。
- ・SNS で話す必要があることなのか判断する。
- ・グループに入っていない人のことも考える。 など